

中野区
議会議員

中村延子

区議会レポート

発行 / 中野区議会民主党議員団

中野区中野 4-8-1 Phone: 03-3228-8876 Fax: 03-3389-8718

編集 / 中村延子事務所

中野区弥生町 4-36-6-402 Phone:080-6533-9450 Fax: 03-3380-3150
email: n@nakamuranobuko.jp

Vol. 1

平成23年11月号



ごあいさつ 平成23年4月24日投票、25日開票の中野区議会議員選挙で1530票をいただき、初当選させていただきました。中野区議会では、建設委員会および震災対策特別委員会に所属が決まりました。民主党からは佐伯利昭議員、酒井たくや議員、森たかゆき議員が当選し、会派名も以前の「民主クラブ」から「中野区議会民主党議員団」に改名されました。今後も4人で力を合わせ、様々な課題に取り組んでいく所存です。



第3回定例会において、初質問をしました



中野区議会平成23年度第3回定例会は、9月28日から10月28日の日程で行われました。今定例会の本会議で、民主党議員団を代表し一般質問を行いました。まず、中野区の外部評価制度に関しての質問を行いました。

中野区では、「財源、人材等の資源を有効に活用した施策の展開を図ることを目指す」ともに、行政サービスの提供を受ける顧客としての区民の満足度の向上を図る事を目的とする「行政評価制度を導入しています。また、過去10年間は、客観的に行政評価を行っていくために学識経験者と公募区民による外部評価制度を導入しています。中野区の外部評価委員会では、事業ベースではなく、分野ごとに評価がされます。毎年すべての分野を外部評価委員会で評価し、決算特別委員会で結果を区議

会に報告しています。現在、事業仕分けや外部評価制度を取り入れている自治体は東京23区中14区ありますが、手法はそれぞれの自治体で差があります。経済状況が悪化している中、従来通りの行政サービスを維持するためには、今まで以上に厳しい財政運営が必要です。それも含め、改めて事業仕分けの手法を中野区の外部評価制度でも取り入れるべきと主張を致しました。

また、外部評価委員会の傍聴者が少ない事も指摘をしました。傍聴者が増えれば、議論が今以上に

緊張感のあるものにもなり、また説明責任を果たす職員の方々の意識も向上すると考えます。ところが、平成22年度の傍聴者数は34人だった事に対し、平成23年度は9人と大幅に減少しています。外部評価委員会は13日間に渡り行われたという事ですので、1人も傍聴者がいない日も数日あったという計算になります。そもそも、中野区が外部評価制度を取り入れている事を知らない区民も多いように感じられ、今後は区報やホームページだけでなく、ツイッターなどでも広報をしていただくよう要望致しました。

国際交流に関して質問を致しました。

国内外を問わず、外国人の生活

や文化、価値観などの多様性に触れ、認め合うことは、世界の国や地域の人々と理解し良好な関係を構築や継続していく上でとても重要です。また国際交流はグローバル社会で活躍する人材を育てる大変有効な機会だと考えます。その為にも時代の国家間の友好関係に影響されない、自治体レベルでの友好関係がこれから大きな役割を担うと考えています。中野区も同じスタンスで国際交流を重要視しているとの回答をいただきました。

また、中野区は現在北京市西城区と友好都市関係を、ソウル市陽州区和姉妹都市関係を締結しています。3月11日に発生した東日本大震災の影響で、今年行われる予定だった記念行事を行う事が出来ませんでした。今後の友好都市・姉妹都市との交流をどのように考えているか質問したところ、今後の情勢を見て積極的に行っていくとの事でした。

また、友好都市締結の基準を中野区で制定はしていないが、今後機会があれば新しい友好都市締結をすることもありえるとの答弁をいただきました。

最後に、実際に顔を合わせ交流する事は大きな関係構築につながるかと考え、中野区でもさらなる国際交流をつとめていただきたいと要望を致しました。

日米青年政治指導者プログラム 第23回訪米団に参加



コロラドスプリングス市長、エルポマー財団会長、コロラド州司法長官と

7月16日～7月30日にかけて、(財)日本国際交流センターとアメリカ国務省が主催する日米青年政治指導者プログラムの第23回訪米団に参加しました。米国の首都・ワシントンDC、ミネソタ州ミネアポリス市及びセントポール市、コロラド州コロラドスプリング市、ブリッケンリッジ市、デンバー市の計5都市を訪れ、各級議員をはじめとする政治関係者や役所関係者、ロビースト、企業関係者らと懇談をしました。また国会、州

議会や市役所など政治・行政の現場や大学施設などを視察しました。

懇談の中では、日米関係、アメリカの2大政党制や、ロビー活動、政治資金と選挙資金、地域主権や若者の政治参加についてさまざまな方々からお話を伺いました。その中で印象的だったのが、研修中に行われた女子サッカーワールドカップの決勝で日本が優勝をした事でした。翌日から始まった公式プログラムでは、どの会議でも「ワールドカップ優勝おめでとう」という言葉から始まりました。その後に続くのが「東日本大震災」に関してのコメントでした。そして、ワールドカップの優勝が今一番光を必要としている日本でよかった、とまでおっしゃってくださいました。方々が多くいました。こうした生きた言葉をいただく事により、日本が一体となって復興していかねければならない事を再確認しました。

この日米青年政治指導者交流プログラムは、実際に若い政治指導者たちがお互いの国

を訪れ幅広く交流をする事によって若い政治指導者同士の間で人間関係を作り、相互理解や信頼関係を築いていくという目的をもっており、日米関係の強化につながる大きな要因となる事を実感させていただきました。



ラスト・デミング日本部長（前駐日首席公使）との懇談にて

【被災地支援】



9月24日、宮城県気仙沼市へ被災地ボランティアに行ってみました。今回訪れたのは唐桑地区という場所で、被害が大きかったのにも関わらず、支援が行き届いていないエリアでした。瓦礫の撤去や、雑草の撤去などのお手伝いをしてまいりました。震災から半年が過ぎていましたが、復興が進んでいる地区がある中、唐桑地区はまだまだ人の手が足りないという印象を受けました。

今後も引き続き、時間を見つけて被災地支援を行っていきたくと考えています。



中野区がツイッター開始！

我が会派の森議員が第2回定例会で、私が第3回定例会で求めてきました、ツイッターでの情報発信を11月1日から中野区が開始しました。

アカウントは、**tokyo_nakano**です。

是非フォローしてください。

また、原則として情報発信のみでリプライ(返信)はしないとの事です。

中村延子

なかむら のぶこ

略歴

趣味

音楽、料理、旅行、
フラワーアレンジメント
おとめ座/B型/酉年

1981年9月2日生まれ 東京都中野区出身
東京文化小学校、東京文化中学校卒業
米国アニーライトスクール高等部卒業
米国クレアモント・ピッツァーカレッジ卒業
在学中、北京大学医学部へ短期留学
約4年間、民間企業に勤務
民主党衆議院議員手塚よしお秘書、
参議院議員蓮舫秘書として経験を積み、
2011年4月中野区議会議員選挙で
1530票をいただき初当選
役職：建設委員会・震災対策特別委員会

www.nakamuranobuko.jp